

各地区の交通安全活動ニュース

交通安全協会は、交通事故をなくすため、様々な活動を行っています。活動の一例を紹介します。



「自転車安全月間」の活動の一環として管内の高校においてヘルメット着用の街頭指導を実施した。(長野南)



「春の全国交通安全運動」の一環として管内のショッピングセンターにおいて街頭啓発活動を実施した。(依田窪)



管内の保育園において園児に対する交通安全教室を開催した。(川西)



「春の全国交通安全運動」において国道141号県境で長野、山梨合同による街頭啓発活動を実施した。(南佐久)



「春の全国交通安全運動」の一環として上諏訪駅周辺の飲食店に対し飲酒パトロールを実施した。(諏訪)



「春の全国交通安全運動」の一環として管内の小学校において交通安全教室を開催した。(辰野)



「春の全国交通安全運動」の一環として国道153号伊南バイパスにおいて交通指導所・人波作戦を実施した。(伊南)



「春の交通安全運動」の一環として管内の高校において自転車のヘルメット着用等の啓発活動を実施した。(飯伊)



「春の全国交通安全運動」において国道19号県境で長野、岐阜合同による街頭啓発活動を実施した。(木曽)



「母の日」に警察署前で少年部員が運転手にカーネーションを配付し安全運転を呼びかけた。(安曇野)



「春の全国交通安全運動」の一環として管内の商業施設で交通少年団による街頭啓発活動を実施した。(大町地区)



管内の小学校の交通安全教室において児童に対し横断歩道の歩行要領等を指導した。(池田松川)

編集後記

長野県交通安全協会は、交通事故のない安全な社会を実現するため各種交通安全活動を行っています。これらの活動は、皆様からのご支援を頂いている交通安全協会費で運営されています。今後とも交通安全協会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

- 横断幕○けんすい幕○各種安全旗
- 各種大型ポスター○立看板○腕章
- ステッカー○ワッペン

スクリーンプロセス

株式会社 アート工芸

長野県須坂市墨坂南四丁目16番2号
☎026 (245) 5027 FAX 026 (245) 5289

長野県公安委員会指定

人に、物に、やさしさを



ドリームモータースクール昭和
〒381-2224 長野市川中島町原 639 ☎ 0120-355-106
ドリームモータースクール須坂
〒382-0098 須坂市墨坂南 2-16-1 ☎ 0120-553-106

「安心してレンタカーを利用したい!」
そんな皆様の気持ちにこたえます。

協会加盟店という安心感

長野県レンタカー協会
長野市大字中御所字岡田131-10
長野県中小企業会館 5階 ☎ : 026-227-7561



交通安全協会入会のご案内

交通安全協会は、地域の交通事故を1件でも減少させ「安全で快適な交通社会」の実現をめざすことを目的に、様々な交通安全活動を行っています。この活動の支えになっているのが、会員の皆さまからの交通安全協会費です。

会費は運転免許証の有効期間により

3年の方は1,400円
4年の方は1,700円
5年の方は2,000円

です。ご協力をよろしくお願いいたします。



県下の交通事故

(令和6年6月1日現在)

区分	累計	前年比
件数	2,028	167
死者数	19	3
負傷者数	2,462	240



発行

一般財団法人長野県交通安全協会
長野県交通安全活動推進センター
〒381-2224
長野市川中島町原704-2
TEL 長野026 (292) 9750
FAX 長野026 (293) 3769

ホームページアドレス <https://ankyounaganoken.com>Eメールアドレス ankyounaganoken@bi.wakwak.com

夏の交通安全やまびこ運動

7月11日(木)～7月20日(土)

長野県交通安全スローガン
信濃路は みんなの笑顔
つなぐ道



運動の目的
夏休みに屋外で遊ぶ機会が増えることも、安全確保につながるため、横断歩道におけるドライバーの歩行者優先のルール遵守と歩行者のマナーアップ行動を呼び掛けること、酷暑期における飲酒運転の増加が懸念されることから、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故の防止を図ることを目的とします。

運動の重点① 横断歩道歩行者優先のルール遵守とマナーアップ行動の実践

横断歩道ルール・マナーアッププロジェクト実施中!

【プロジェクト目標】～手のひらで 気持ち伝わる ゆずり合い～

① 信号機のない横断歩道における車の停止率 10年連続全国1位 ② 横断歩道上における歩行者の交通死亡事故ゼロ

● ドライバーの皆さんへ

★ 横断歩道は歩行者優先

① 横断歩道の手前で減速しましょう ② 歩行者がいるか確認しましょう ③ 歩行者がいたら必ず止まりましょう

● 歩行者の皆さんへ

★ ドライバーに「渡りたい」を伝えよう!

① 横断歩道を渡りましょう ② 手を上げて横断する意思を伝えましょう ③ 大きく首を振って安全確認をしましょう

横断歩道以外でも

● 保護者の皆さんへ

★ 小さなお子さんから「目」と「手」と「心」を離さないようにしましょう

★ 「車が来ているか必ず安全確認する」「横断中も周囲を確認する」等、お子さんに繰り返し注意を促しましょう

● ドライバーの皆さんへ

★ 歩行者優先の意識を持ち、特に住宅街などの生活道路では速度を落として、しっかりと安全確認をしましょう

● 歩行者の皆さんへ

★ 夜間は夜光反射材やライト等を活用して、自分の存在をアピールしましょう

運動の重点② 自転車等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

★ 自転車・特定小型原動機付自転車に乗る時は、命を守るためにヘルメットを着用しましょう

★ 自転車は車両、交通ルールを守りましょう

★ 交差点では一時停止や徐行をして左右の安全確認を確実にしましょう

★ 長野県では、自転車損害賠償保険などの加入が義務化されていることから万一の事故に備えて加入しましょう

運動の重点③ 高齢者の交通事故防止

● 高齢ドライバーの皆さんへ

★ 通り慣れた道であっても、油断せずしっかりと安全確認をしましょう

★ 高齢になるにしたがって、視野、反射神経、筋力等の身体機能が変化しますので、丁寧な安全確認をしましょう

★ 運転に不安を感じたら、家族や安全運転相談窓口(☎8080)などに相談しましょう

★ 安全運転サポート車(サポカー)への乗り換えや安全運転支援機能の後付けを検討しましょう

運動の重点④ 悪質・危険な運転の根絶と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行

★ 飲酒運転は重大事故の原因になり、多くの人の人生を台無しにします 飲酒運転を「許さない」社会にしましょう

★ 妨害運転(あおり運転等)は飲酒運転と同じく、悪質・危険な故意の犯罪です 「思いやり」と「ゆずり合い」の気持ちを持って、安全な速度と方法で運転しましょう

★ 時間に余裕を持って行動し、ゆとりある運転を心掛けましょう

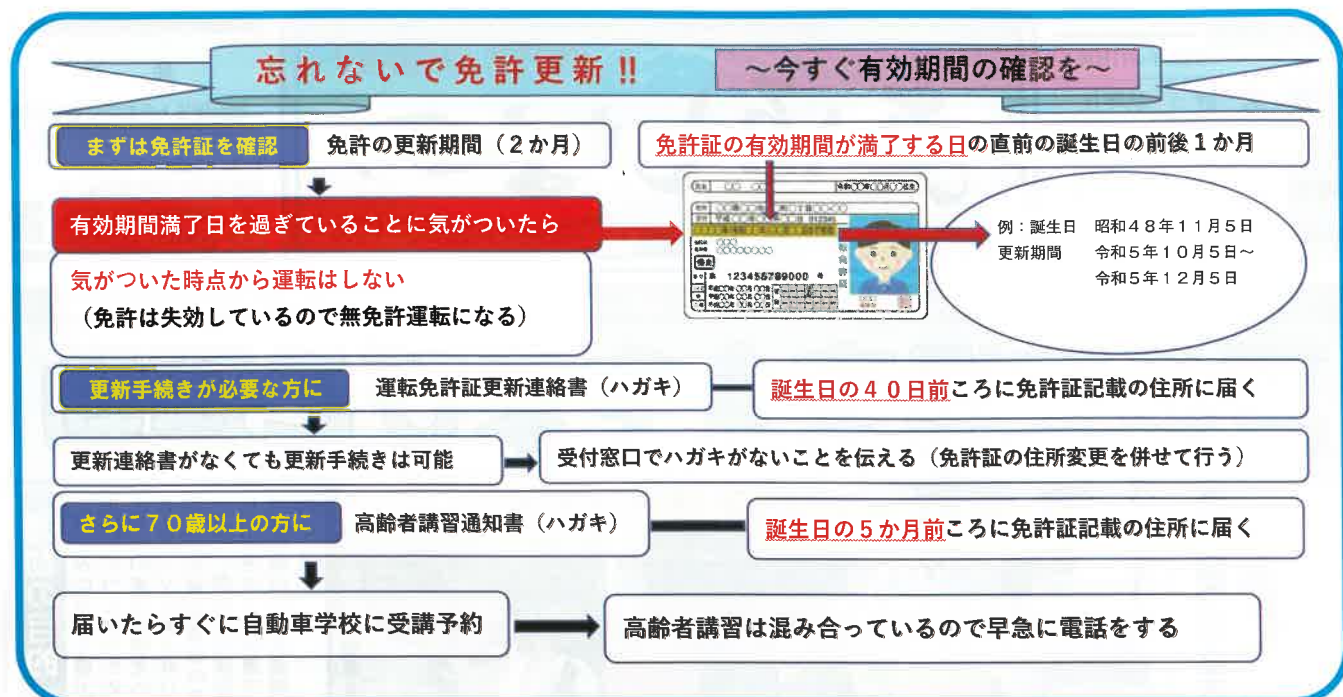


長野県交通安全協会
マスコット
「みんなのこころ」



みんな
ヘルメットを
かぶろう!





地区安協活動事例紹介

～交通安全活動について～

〔上田交通安全協会〕

上田交通安全協会では、地域全体が一丸となって交通事故防止に取り組んでいます。

- 夏の交通安全やまびこ運動において、東御市の道の駅「雷電くるみの里」で交通少年団によるレター作戦を実施し、旅行者など道の駅に立ち寄ったドライバーに少年団が作成したメッセージを手渡して交通事故防止を呼び掛けている。
- 夏の市民祭り「上田わっしょい」において、踊り連に女性部が参加し、横断幕、のぼり旗を活用して参加者に交通安全の意識付けを行った。
- 秋の全国交通安全運動において、鳥居峠で群馬県警、隣接市町村と合同で交通指導所を開設し、交通安全啓発チラシと共に、群馬は「長野原キャベツ」、長野は「信州きのこ」をドライバーに配付して啓発活動を実施した。



交通安全協会団体会員へのご入会のお願い

県内の企業・団体の
みなさん・・・

長野県の交通安全活動を支えるのはみなさまです

（一財）長野県交通安全協会では、県内の企業や団体等の皆様の中で当協会の目的及び事業活動に賛同し御協力をいただける「団体会員」への入会をお願いしております。交通事故防止活動の更なる推進のため皆様のご協力をお願いいたします。



◎ 団体会員加入の皆様(敬称略・順不同) ※令和6年5月現在
・大和ハウス工業株式会社長野支店 ・株式会社電算 ・株式会社酒井商会
・公益財団法人倉石地域振興財団栗田病院 ・信州玉姫殿グループ

◎会員特典

- 1 機関誌(「交通しなの」)、チラシ、パンフレット等の無料配付。
 - 2 機関誌、ホームページへの企業名、バナー広告の掲載(希望による)。
 - 3 交通安全DVDの無料貸し出し。
- 入会手続等の詳細につきましては、(一財)長野県交通安全協会までお問い合わせください。TEL026-292-9750



地域の安全を願う交通安全協会の活動にご理解とご協力をお願いします。

反射材購入のお申し込みは県安協警察署内各地区交通安全協会へ

交通安全ファミリー作文コンクール最優秀作品の紹介

令和5年度交通安全ファミリー作文コンクール(警察庁、全日本交通安全協会、三井住友海上福祉財団、日本交通安全教育普及協会共催)は、各家庭や学校、地域等において交通安全に関する話し合いを進めることにより、国民一人一人の交通安全意識の一層の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通安全マナーの実践の確保に資すること等を目的として、昭和54年度から行っており、今回で45回目となりました。応募総数4,089点の中から選ばれた「中学生の部」の最優秀作品(内閣総理大臣賞)をご紹介します。

交通安全家族会議

福島県郡山市立安積第二中学校
1年 安齋 真央

私にとっての交通安全を考えてみると、自転車を運転する時には「ヘルメットを着用する」、「左側を走行する」など主に、自転車に乗る側の視点での交通安全を一番に考えた。その理由は、中学生になって自転車通学になったからだと思う。では、他の人はどうだろうかと思った私は、家族と交通安全とは何かについて会議をすることにした。

まず初めに、小学生の妹が考える交通安全は、「信号を守る」、「横断歩道では手を挙げて横断する」など、主に歩行者側の視点での意見が多かった。

次に、母が考える交通安全は、「かもしれない運転をする」、「急のつく運転をしない」、「早めにライトを点灯する」など主に、車の運転者としての視点での意見が多かった。

次に、父が考える交通安全は、「出掛けるときは、早めに出発するなど時間に余裕をもった行動をする」、「夜間出歩く時は、夜光反射材を着用する」との意見であった。また、人それぞれの交通安全だけではなく、車の自動ブレーキ機能などの企業努力も交通事故防止に繋がっているなどと父は話していた。

このことから分かる通り、それぞれの年齢や立場によって考える交通安全があることが分かった。また、そのどれもが守らなければならない交通安全だと思う。

では、なぜ交通事故は起こるのか。福島県内の交通事故件数を調べてみると、令和四年中に二千七百件を超える人身事故が発生していることが分かった。これでも減少傾向にあるようだが、なぜこんなにも交通事故が発生するのだろうか。

それについても家族で会議をした。その中には、「疲れや調子の乱れ、それによる注意力の低下が原因なのではないか」、「前は大丈夫だったからという経験で基本が崩れたのではないか」、「自己中心的な考えで行動していたのではないか」、「そもそも交通安全に対するモラルがなく、交通ルールを守っていない人がいるのではないか」などの意見があった。

この時、ふと私が感じたことがある。それは、大人は事故を起こさないという加害者の視点、子供は事故にあわないという被害者の視点で交通安全を考えていると感じた。それぞれ交通安全のことを考えているのに、まったく逆の視点から考えていると感じた。また、交通事故は、自動車と歩行者の事故だけではなく、自転車と歩行者の事故も考えられることが分かった。それを考えると、自転車通学をしている私も交通事故の加害者になる可能性があることが分かった。今まで、事故にあわないための交通安全を考えていたが、これからは、加害者側の視点での交通安全も意識しなければならないと感じた。

この会議を通して、私が思う最大の交通安全は、全員が加害者側と被害者側の視点で交通安全を考えることだ。

第46回プロドライバー事故防止コンクール実施結果

プロドライバーが、安全運転や接客マナーの向上を図り、一般ドライバーの模範となって「安全で快適な交通社会」の実現をめざすことを目的に、令和5年7月から12月までの間、プロドライバー事故防止コンクールが実施されました。

特別表彰受賞事業所(3年連続最優秀事業所)及び最優秀賞受賞事業所については、以下のとおりです。受賞されました事業所の皆様、おめでとうございます。

※マル数字は順位ではありません。

特別表彰受賞事業所

トラック部門

○株式会社パワード・エル・コム

タクシー部門

○中野ハイヤー株式会社

最優秀賞受賞事業所

タクシー部門

○南信州広域タクシー有限会社

バス部門

①伊那バス株式会社
④太陽バス株式会社

②柿木観光バス株式会社
⑤南信州広域タクシー有限会社

③西武観光バス株式会社 軽井沢営業所
⑥有限会社ユニバーサル運輸

トラック部門

①上田運送株式会社
④株式会社小川急送
⑦更埴貨物自動車株式会社
⑩諏訪貨物自動車株式会社
⑬南信貨物自動車株式会社

②有限会社永商
⑤北安陸送株式会社
⑧眞田陸送株式会社
⑪株式会社トラックス

③株式会社大町運輸
⑥株式会社小泉運輸信越
⑨三鱗運送株式会社
⑫長野通運株式会社

各地区の交通安全活動ニュース

交通安全協会は、交通事故をなくすため、様々な活動を行っています。活動の一例を紹介します。



「春の全国交通安全活動」の一環として県庁前交差点において街頭啓発活動を実施した。(長野)



管内の小学校の交通安全教室において、児童に対し横断歩道の歩行要領等を指導した。(中高)



交通安全運動において管内の商業店舗でご当地ヒーロー常葉戦隊酒レンジャーも参加し街頭啓発活動を実施した。(須高)